

平成 19 年度周防大島町地域公共交通会議議事概要（ホームページ公表版）

日 時：平成 19 年 5 月 28 日（月）午後 1 時 35 分より午後 2 時 40 分まで

場 所：周防大島町役場大島庁舎 1 階会議室

出席者：委 員（会長） 周防大島町副町長椎木巧、
委 員 防長交通（株）運輸部長佐々木亮輔
委 員 大島観光タクシー（株）代表取締役濱村政幸
委 員 （社）山口県バス協会専務理事原田憲治
委 員 周防大島町自治会連合会（外入地区自治会）会長行田茂美、
委 員 小積地区自治会会長川崎壽夫、
委 員 中国運輸局山口運輸支局首席運輸企画専門官前田眞治
委 員 私鉄中国地方労働組合防長交通支部執行委員長井本幸二
オブザーバー 山口県地域振興部交通運輸対策室次長橋本雅寛、主任山崎直和、
防長交通（株）業務課長代理河内政好、山口運輸支局運輸企画
専門官山中慎一
運行受託事業者 有限会社久観交通代表取締役川西幸治
事業担当 周防大島町学校教育課学校教育班長吉村昭夫、商工観光課商工
観光班長大川博敏
事務局 政策企画課長中野守雄、総合政策班長岡野正徳、総合政策主幹
近藤晃 以上 18 名

資料： 平成 19 年度第 1 回周防大島町地域公共交通会議（次第）
周防大島町地域交通活性化計画（案）
周防大島町地域公共交通会議資料

司会進行 中野政策企画課長

次第 1．開会 周防大島町地域公共交通会議会長、椎木副町長あいさつ

次第 2．説明 周防大島町地域公共交通会議設置要綱について、岡野班長が説明

次第 3．委嘱状交付 委嘱状について、中野政策企画課長が説明

次第 4．委員紹介 各委員およびオブザーバー出席者を中野政策企画課長が紹介

次第 5．協議 議長を会長である椎木副町長が務める。

周防大島町活性化計画について及び スクールバス白木線の運行計画について、岡野班長が説明ののち、各委員へ質疑を求める。各委員の発言要旨は次のとおり。

主な意見

（利用者代表）

白木半島線が廃止されることばかりが住民の頭にあって、住民が心配しているので、実質は、防長交通から久観が運転するバスに変わるだけで、少し減便はされるけれども今とそんなに変わらないことを宣伝すべきではないか。

今後、詳しい運行計画に伴う車両、運行ダイヤについて広報されると思うが、ポイント

をつかんだ広報をして住民の不安を煽らないようにしてもらいたい。

赤字路線に町の自由に使えるお金の何パーセントを投入しており、改善しなければ夕張の二の舞になるというようなことを運行開始の2～3ヶ月前に広報してもらいたい。

今までよりも良くなる点もあるのではないか。その点をもっとPRしてもらいたい。財政的な面を何とかしないといけないというのは事実ですよね。住民も十分解っていると思います。それと同時にこういうところでは工夫できますよという点をPRしてもらいたい。例えば、買物がしやすくなるとか、本線での乗り継ぎが良くなるとかをPRしてもらいたい。

中期的な取り組みにあるとおり、将来病院バスを一元化して止めればその代わりに1便か2便増えるというようなことをPRすればよいと思います。

これを切り替えたなら町の負担がどのくらい減ることになるのか。

今、話したようなことをまとめて広報誌に早く出してほしいということです。住民に理解させるのに段階を経て10月1日を迎えようということです。

大島大橋の通行料を以前の半額くらいをとって、路線の赤字補填金に振り向けたらどうかという話がありますがどうですか。

(防長交通)

この度は、財政的な問題等により路線を町のほうにお返しするということになりました。今後は、安下庄線の中国 JR バスの撤退の後を受けて同路線に参入し大島郡の幹線を担ってまいりたい。

(山口県)

先ほど、ありました大島大橋の通行料の件については、うちの道路整備課に伝えたいと考えます。

安下庄線の交通事業者の参入につきましては、路線が柳井市にまたがっておりますので、県の地域協議会の分科会を開いて確認していきたい。

議長が議論を終結し、スクールバス白木線の運行計画に対して委員の同意を求め異議なく了承された

次第6．その他

岡野班長が、今後の6月定例町議会にこのスクールバス白木線の設置条例案を提案し、議決の後に山口運輸支局に対し本日の会議の同意が整った旨の文書を添付し自家用車両の有償運行に伴う登録申請を行う旨を説明した。

次第7．閉会